戦時中の生活（２）

①南京陥落祝賀行列



1937（昭和 12）年７月に始まった日中戦争において、日本（大日本帝国）は、1937 年 12 月に中華民国の首都である南京を制圧しました。このニュースが伝わると、日本中で慶祝の行事が行われました。

この写真は、東古味（旧仕七川村）の有志が南京陥落の祝賀行列をした後に撮影されたもののようです。「祝南京陥落」と大きく書かれた文字がはっきり見えます。

②皇紀2600年



写真の左の「皇紀二千六百年紀念」にご注目ください。「皇紀」は神武天皇（初代天皇）の即位年を元年とする日本独自の紀年法で、昭和 15（1940）年は「紀元二千六百年」として、政府主導の祝典・奉祝会・記念事業が全国で実施されました。旧仕七川村では記念相撲大会が行われ、東川支部が優勝したようです。撮影場所は不明ですが、二宮金次郎像があるので、どこかの学校であろうと思われます。

まわしに書かれたしこ名（仁淀川・白浪）から、当時の地域の相撲文化の一端がうかがえます。

③鉢（はち）国民学校の運動会



昭和 17（1942）年、鉢国民学校（旧中津村）の運動会での一コマです。武道（なぎなた）と思われる演目に「戦時色」を感じます。

明治以来の小学校は、昭和 16（1941）年から「国民学校」と改称されました。教育内容は、「皇国民（こうこくみん）の錬成」という観点から国民科・理数科・体錬科・芸能科・実業科の五つの「教科」に再編成され、その中に「科目」がありました。

④久主（くず）国民学校の運動会



久主国民学校（旧中津村）の体育大会ですが、年代は不明です。

なぎなたより短い棒状のものなので、「剣舞」のような演目の一コマかもしれません。

体錬科の内容は、体操と武道の二科目からなり、武道は初等科第５学年以上が剣道・柔道（女子は薙刀（なぎなた）も可）を学びました。

戦後、連合国軍総司令部（GHQ）の占領政策の中で、学校教育における武道は一時禁止されましたが、昭和 33（1958）年の中学校学習指導要領で、柔道・剣道などが「格技（かくぎ）」として選択科目に復活しました。